

まちの話題

4月28日[Thu]

東部校5年生がビワの袋かけ体験



▲優しく教わりながら袋かけを体験しました

ビワを風雨や鳥から守り、実が固くなるのを防ぐための「袋かけ」を、東原産舎東部校の5年生29人が体験しました。この体験会は、納所里づくり委員会が毎年開催されており、密集している実を選別して、袋かけを行うものです。

参加した田淵葵暉さんは「袋かけは初めて体験しました。ビワが大好きなので6月の収穫が楽しみです」と感想を語り、同会の田淵厚会長は「体験をとおしてビワが地元の特産品だと教えてあげたくて続けています。収穫も味覚も楽しんでほしいです」と話されました。収穫は6月10日頃を予定しています。



5月4・5日[Wed・Thu]

天山多久温泉TAQUAでマルシェを開催！



▲多久翁さんも参加してマルシェを盛り上げました

多久市と地方創生に向けた相互連携協定を締結している株式会社イノベーションパートナーズ（本社：東京都）の協力を得て、天山多久温泉TAQUA駐車場で「タクアマルシェ」がにぎやかに開催されました。

マルシェには多久市の事業者を中心に6店舗が出店。地元産の野菜や果物、加工品などが販売されました。マルシェを主催した天山多久温泉TAQUAの外間広一代表取締役は「1周年記念のイベント以来、久しぶりに開催しました。今後も多久市を盛り上げる楽しいイベントを企画していきます」と抱負を語りました。

東多久町から訪れた女性は「人が集まるイベントは久しぶり。活を感じ、とても楽しめました」とにこやかに話されました。

5月9日[Mon]

飯守康洋さんが県政功労者知事表彰を受賞



▲地方自治分野での多大な貢献を称えられた飯守さん

長年にわたり多久市議会議員として尽力されている飯守康洋さん（西多久町）が県政功労者知事表彰を受賞されました。この表彰は、地方自治や農業、産業振興などの分野で活躍し、佐賀県発展に貢献した個人や団体を称えるものです。

飯守さんは「平成11年に初当選し、現在6期目を務めさせていただいています。このような表彰は恐れ多いことですがありがたいです。これからも市民のみなさんが幸せで平穩に暮らせるよう、微力ながら努力していきます」と笑顔で話されました。

